上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)　説明・承諾書

（ 検査予定日：　　年　　月　　日 ）

検査について

① 胃液の泡を消したり、粘液を除去しやすくしたりする薬を内服します。
口からの検査の場合は、スプレーによる喉の麻酔、鼻からの検査の場合は出血予防の血管収縮剤の鼻腔内への噴霧後に、スティックによる鼻腔の麻酔を行います。

□ 口からの検査　　□ 鼻からの検査	□　拡大観察希望あり　　□拡大観察希望なし

② 現在治療中の病気や過去の病気に合わせて、胃の動きを抑える薬剤の注射を行います。(注射をしない場合もあります)。

③ 内視鏡を口または鼻から挿入し、上部消化管（食道・胃・十二指腸の一部）を観察します。癌・ポリープ・炎症などの病気の有無・程度を調べます。

④ 病変を認めた場合、粘膜の一部を採取(生検)し、顕微鏡(病理)検査を行うことがあります。病理検査の結果は後日(1～2 週間後)となります。血栓予防治療中の方は、行えない場合もあります。

鎮静について

① 内視鏡検査の苦痛や不安、痛みを軽減し、安全かつ精密な検査を行うことが目的です。

② 薬剤の効果については個人差が大きいです。鎮静薬を使用しても、「苦しかった」「眠くならなかった」ということもあります。

③ 効果が強すぎる場合は、鎮静薬の効果を打ち消す拮抗薬を使用する場合があります。

④ 鎮静薬を使用した場合、検査の後に院内で 30 分から 60 分程度休憩していただきます。鎮静薬の効果が無くなっていることを確認して、帰宅していただきます。当日は車・バイク・自転車の運転、危険を伴うような作業は行わないでください。検査当日は公共交通機関を利用するか、どなたかに送迎していただくようにお願いします。

□ 鎮静の希望あり　　□鎮静の希望なし

検査の合併症について

① 薬剤のアレルギーや内視鏡による粘膜損傷があります。頻度は極めて低く、口からの検査では 0.005%、鼻からの検査では 0.024%です。

② 鎮静薬の副作用は、アレルギーや呼吸状態の悪化、吐き気、眠気、脱抑制などがあります。検査中に体の動きが大きい場合は、安全のために体を押さえたり検査を中止したりする場合もあります。

各種費用について

① 検査の内容によりますが、概算(3 割負担)は 6,000 円～15,000 円程度です。

その他

① 一旦承諾されても、検査が開始されるまでには同意を撤回できます。

② ご質問・ご不明な点がある場合、検査前までに医師・スタッフにお伝えください。

私は上記内容について理解して上で、内視鏡検査を受けることを承諾いたします。

年　　月　　日　　ご署名

代諾者　　続柄

うえの内科・消化器内視鏡クリニック　　院長　上野　哲